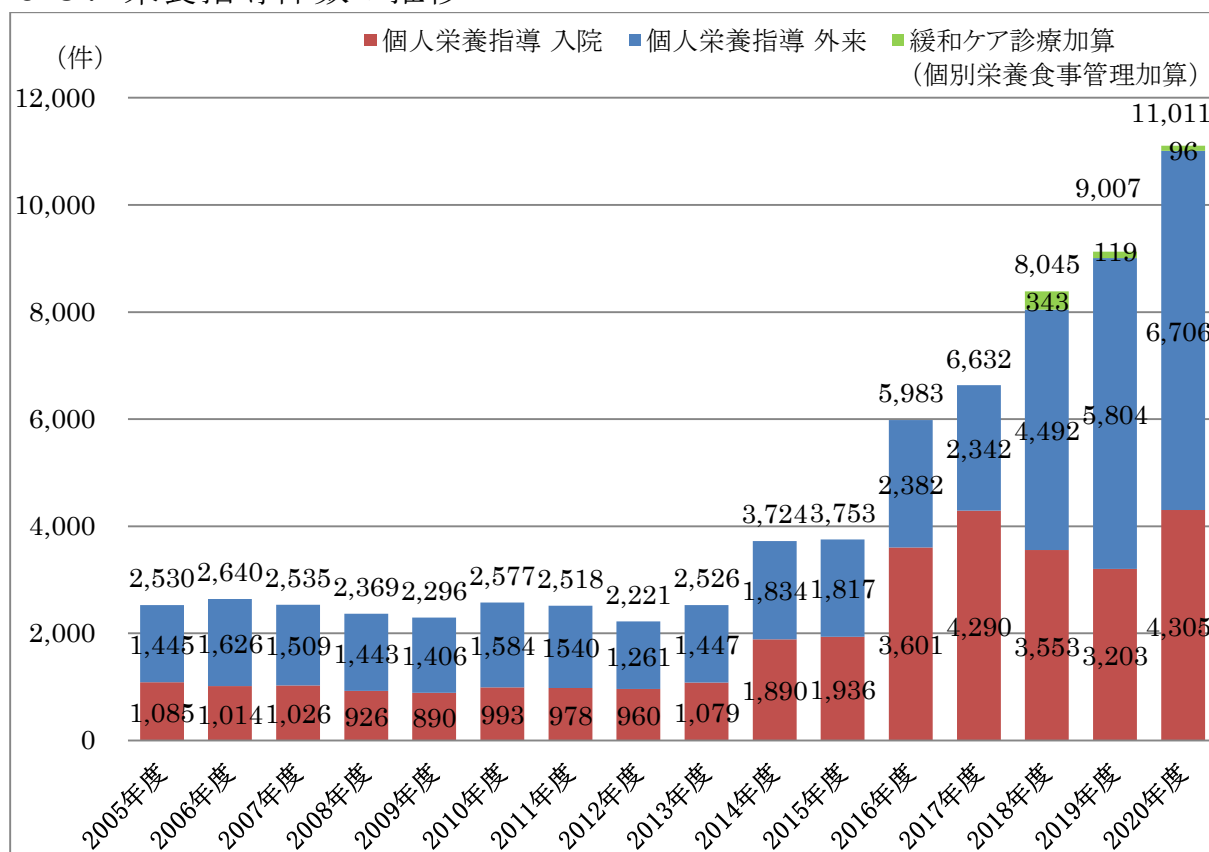


9 5. 栄養指導件数の推移



栄養管理は、疾病治療において大変重要な部分を占める。病院管理栄養士は、外来通院患者個々の栄養判定を行い、医師の指示のもとで栄養改善対策を計画、実施から結果に導き、患者の病態の改善を目指す。外来から入院へとシームレスな栄養介入と、術後早期の栄養管理を実施することで、患者の早期離床と在宅復帰を支援し、患者と患者家族に寄り添いながら、栄養の重要性を理解していただき、疾病の進行や再発を予防しながら合併症の発症も抑えるよう努めている。

2021年度の件数は、前年度に比べ増加した。がん治療患者に対する栄養指導や、透析センターでの栄養指導の件数増加、入院中の食事摂取不良患者に対する栄養管理の取り組みなどが要因である。来年度はさらに、入院から退院後の施設、転院先へと患者の病状にあった食事が継続して行えるよう、全病棟での栄養情報提供書管理にも取り組み、患者のQOLや治療効果の向上が期待できる栄養指導を行っていきたい。